

小児看護学実習



小児看護学実習

I. 目的

小児の成長発達を理解し、健全な育成をめざしてあらゆる健康段階にいる小児と家族に対して適切な看護が実践できる基礎的能力を養う。

II. 目標

1. 小児をひとりの人として尊重し、権利を持つ存在であることを理解できる。
2. 健康障害や入院が、成長発達段階にある小児と家族に与える影響について理解することができる。
3. 小児の成長発達に応じた日常生活援助や遊び(学習)の援助ができる。
4. 小児の成長発達を支える家族に対する視点から、家族への支援を考えることができる。
5. 小児をとりまく医療・保健・福祉・教育の連携の中で小児看護の役割が理解できる。
6. 小児および養護者・家族との相互関係を通して自己の子ども観を発展させることができる。

III. 実習場所と時間数

	時間	内容
オリエンテーション	4.0 時間	小児看護学実習の目的・目標・内容 実習上の留意点

科目名	修得単位	実習場所	実習時間	実習日数
小児看護学実習	2 単位 90 時間	保育所	22.5 時間	3 日間
		重症心身障害児 施設	7.5 時間	1 日間
		慈恵第三病院 小児科病棟	56 時間	7 日間半
		小児科外来	4 時間	半日間

IV. 実習評価

保育所実習および病棟・外来実習終了後に、総合的に教員が評価をする。

V. 実習に臨む上での留意事項

1. 感染に対する抵抗力が弱い小児を対象とするため、自己の健康管理に留意する。
2. 保育所実習は外部実習となるため、学ぶ側としての姿勢、謙虚な心・感謝する心について学び、グループで協力し合う。

事前オリエンテーション

1. 目的

小児看護学実習の目的・目標・内容・方法を理解し、実習に臨む準備ができる。

2. 目標

- 1) 実習目的・目標・内容が理解できる。
- 2) 実習に向けての準備内容を理解し、行動できる。
- 3) 各実習施設の特徴と実習上の留意事項が理解できる。

3. 方法

- 1) 実習時間 4 時間
- 2) 実習場所 第 2 教室
- 3) 内容と時間数

	時間	担当者	内容
小児看護学実習の概略	0.5 時間	専任教員	小児看護学実習の目標・内容
実習に向けての準備	1 時間	専任教員	事前学習の内容 実習に臨む上での体調管理 実習に向けて準備するもの
各実習施設の 目標・方法・留意事項	2.5 時間	島田療育センター 療育部副部長 専任教員	各実習施設の特徴と留意事項 重症心身障害児施設 小児科病棟実習 小児科外来実習 保育所実習

4. その他

- 1) オリエンテーションにあたり、以下のものを準備する。
 - ①学生便覧
 - ②臨地実習要項
 - ③セーフティマネジメントマニュアル
 - ④実習配置表
 - ⑤重症心身障害児施設実習は、外部講師から 90 分で行う。
PC を使用する。
- 2) 履修上の条件を確認して参加する。

小児科病棟実習

1. 目的

小児看護の対象を理解し、看護が実践できる能力を養う。

2. 目標

1. 小児期にある対象の健康の回復・保持・増進および成長・発達を促進するための看護が実践できる。
 - 1) 病態生理・治療などの観点から小児の現在の状態をアセスメントできる。
 - 2) 身体発達、精神発達の観点から小児の現在の状態をアセスメントできる。
 - 3) 日頃の生活習慣にもとづいて小児の現在の療養生活がアセスメントできる。
 - 4) 病気や入院が小児と家族におよぼす影響がアセスメントできる。
 - 5) 小児および家族の問題が明らかにできる。
 - 6) 小児および家族の問題を解決するための目標と具体策を考えることができる。
 - 7) 疾病の特徴および成長発達に応じた日常生活援助や遊び(学習)の援助ができる。
 - 8) 看護の一連のプロセスを評価しフィードバックできる。
2. 小児の発達段階に応じた方法でコミュニケーションをとることができる。
3. 小児を取り巻く危険因子を捉え、安全確保が適切に実践できる。
4. 保健・医療・福祉・教育の連携の中で対象に関わる職種の役割について理解できる。
5. 小児および養護者・家族との相互関係を通して自己の子ども観を発展させることができる。

3. 方法

- 1) 2週間を通して小児期にある患児を1~2名受け持ち、その対象の看護を展開する。
- 2) 実習初日の午前中は、オリエンテーションと看護師1名につきシャドーイングを行う。
 - (1) オリエンテーションは以下の内容で行う。

病棟の構造上の特徴、小児用ベットの取り扱い方、児と関わるうえでの注意点、事故防止対策、小児看護に携わる医療チームメンバーの紹介など
 - (2) シャドーイングは以下の視点で見学する。

小児および家族とのコミュニケーションのとりかた、小児特有の看護技術、治療や処置を受ける小児の反応と看護師の関わりなど
- 3) 実習期間中、新生児室オリエンテーションを行う。内容は以下の通りで実施する。

新生児室の入室方法、入院対象と看護の要点、保育器の取り扱い、家族ケア、母性病棟との連携についてなど
- 4) 実習3日目に経口与薬、実習4日目に輸液管理の見学を行う。事前に小児看護技術の各項の学習をして臨むこと。時間等は前日に指導者と調整し、決定する。
- 5) 援助の実施は、2日目から行う。援助の目的・説明内容・安全安楽・観察の視点を具体的にし、原則的に教員および臨床指導者、看護師とともに行う。

4. 実習内容と展開

1 週目	<p>1 日目 午前：オリエンテーション・シャドーイング 午後：受け持ち患児決定、情報収集とコミュニケーション 疾患、治療経過だけでなく、日常生活の援助（食事、排泄、清潔、活動、睡眠等）についても確認する。</p> <p>2 日目以降 日常生活援助を通しての情報収集 受け持ち患児の一日の生活リズムの把握 病態生理・治療の観点からアセスメント 身体発達・精神発達の観点からアセスメント アセスメントの結果から看護上の問題を抽出する (3 日目 経口与薬 4 日目 輸液管理の見学)</p>
2 週目	<p>看護上の問題の影響因子を考え、対象に合わせた看護目標・および具体策の立案 立案した看護計画をもとに実施・評価</p> <p>最終日 午後より病棟実習 新生児室オリエンテーション</p>

5. カンファレンス

- 1) 学生が主体的にテーマを決め、準備運営する。
 - 2) カンファレンスの資料は当日の朝までに教員・指導者・メンバーに提示する。
 - 3) 原則として 15 時から小児科病棟面談室で行う。
 - 4) カンファレンスの日程は以下の通りとする。
- 5 日目以降のケースカンファレンスは、テーマカンファレンスでもよい。

	内容		内容
1 日目	初日の感想	5 日目	ケースカンファレンス
2 日目	学習会	6 日目	ケースカンファレンス
3 日目	ケースカンファレンス	7 日目	ケースカンファレンス
4 日目	ケースカンファレンス	8 日目	総合カンファレンス

6. 記録

- 1) 提出日
病棟実習終了後の翌週月曜日の 9:00 までに提出する。
- 2) 記録
「1 日の実習記録」と受け持ち患者記録（看護過程を展開する所定の用紙）
- 3) 終了後レポート
テーマ：小児看護実習で学んだこと（サブテーマをつける）
書式：A4 サイズ横書き 2000 字以上、鉛筆不可
- 4) 提出時の留意事項
 - ① 外来実習、保育所実習、重症心身障害児施設については別項を参照する。
 - ② 評価表に自己評価をし、穴を開け始めのページに綴じ、記録と共に提出する。

小児科外来実習

1. 目的

小児科外来の役割と特徴を理解し、看護のあり方について考えることができる。

2. 目標

- 1) 小児科外来の機能および看護師の役割を知る。
- 2) 小児科外来に訪れる対象とトリアージの実際について知る。
- 3) 病棟および社会との連携について知る。
- 4) 感染症および伝染性疾患の感染拡大防止のための具体的な方法が理解できる。

3. 実習方法

- 1) 外来実習は、原則病棟実習最終日の午前中に行う。
- 2) 実習時間は、8:30 から 12:00 までとする。但し、8時に登校し、学内で事前学習をしてから臨む。
- 3) 診療開始前に、小児科外来の構造の特徴や役割についてのオリエンテーションを指導者より受ける。
終了前に指導者と学びの共有をする。
- 4) 診察中は看護師につき、診察や処置の様子から患児および家族の反応、医師、看護師の役割を見学する。

4. 記録

1日の実習記録に行動目標および行動計画を記載し、実習に臨む。

実習後の学びを評価に記載し、メンバー分の記録を1冊のファイルにまとめ、翌日小児科外来へ提出する。

返却日を確認し、受け取り後、担当教員へ提出する。

保育所実習

1. 目的

健康な小児の日常生活行動を実際の保育活動を通して観察し、成長・発達の特徴を把握する。

2. 目標

- 1) 年齢に応じた発達段階を把握する。
 - (1) 身体的成長発達の特徴
 - (2) 精神発達の特徴
- 2) 小児の基本的生活習慣の実際を知り年齢にあった保育の方法を体験する。
- 3) 小児と一緒に行動することで遊びの大切さを理解する。
- 4) 小児の安全管理の実際を知る。
 - (1) 施設・設備の工夫
 - (2) 児との関わり方
- 5) 小児の生活における保健行動、健康管理の概要を知る。

3. 実習の展開

- 1) 一日ずつ異なる発達段階のクラスをローテーションする。ローテーション表は保育所実習前に配布する。
- 2) 実習期間中（初日）に施設のオリエンテーションを受ける。
 - ①保育方針 ②保育上の注意 ③保育所での健康管理、安全対策など
- 3) 実習最終日に総合カンファレンスをする。
- 4) 留意事項を熟読し、各自が責任をもって行動すること。

4. 実習に臨む上での留意事項

- 1) 実習時間は、8：30から17：00とする。

実習開始時間にはクラスで実習が開始できるよう、更衣・あいさつ・指定の提出物の提出が済むよう行動する。

遅刻・欠席時は、実習開始時間前までに保育園（園長先生）、学校およびグループメンバーに連絡をする。

初日は、インターホンを押して所属を名乗って入園する。以降の出入の方法は各園にて伺う。
- 2) 実習の服装は、上はポロシャツまたはTシャツ（袖のあるもの・胸元の開きすぎていないもの）で下はジャージとする。動きやすいことが条件のため、清潔で適したサイズのものであること。その他、汗拭きタオルや外用帽子なども持参する。
- 3) 最終カンファレンス（保育園実習での学び）の時間を園長先生に事前に確認をし、放課後担当教員に報告する。（事前に資料を準備し、運営は自分たちで主体的に行なう）

最終日に園長（又は実習指導者）とカンファレンスを行う。出席の依頼と時間の調整、出席者の確認を行う。

初日放課後、担当教員に日時を報告する。

カンファレンス資料を作成し当日朝、園長へ提出する。教員へは実習記録提出時に提出する。

- 4) 前日の記録物は、実習開始時間前にリーダーがグループ分まとめて園長先生に提出する。
(ファイルで管理する)
- 5) 最終日の記録物提出日を各グループ毎で確認し、後日届ける。(基本的に実習翌週の月曜)
(一日の実習記録および終了後レポート)
同時に取りに伺う日も確認する。保育所への実習記録の提出、返却は各自が責任をもって管理する。最終日に未返却の記録がある場合、同様に返却日を伺う。3日分の一日の実習記録および事前・終了レポートが手元に届いた時点で各自ファイルに入れ、担当教員へ提出する。
(事前に担当教員へ報告する)
- 6) 実習計画には、その日担当するクラスの目標を書く。
(何歳クラスでの実習であるのかを記載すること) 指導を担当していただく職員又は、クラス担当の保育士に目標・計画を報告し、実習に臨む。
学んだことは、目標に沿って、日常生活習慣の成長発達がどうであったかのみでなく、自分や保育士の関わり、対応の中で学んだことを表現する。
(誤字・脱字のないように見直して提出すること)
- 7) 保育士の指示のもと実習すること。(自分から積極的にコミュニケーションをとる) 単独で児に指導したりしない。実習中の子どもの接し方などの疑問に関しては、その都度担任に質問すること。
- 8) エプロンは、実習着ではないものを用意する。名前は、布にかいて縫いつける。
(A4版半分のサイズの白地の布に大きくひらがなで名前を書く。縫い付ける際は、事故防止のため、角のみでなく周辺全て縫い付けること。)
- 9) 実習中髪は清潔にまとめ、装飾品は全てはずすこと。(マニキュアも禁止)
- 10) 実習へ行く際の服装は、通学時の服装に準じる。藤塚保育園のみ本校の更衣室で更衣をし、直接実習場へ向かう。
- 11) 昼食は園の給食と一緒にいただく。市立保育所は初日に昼食代金(1日240円の実習日数分一括払い)を人数分おつりのないように封筒に入れて園長先生へ提出する。民営保育所は最終日に提出する。
- 12) 配膳のお手伝い用に清潔なエプロン、三角巾(大判のスカーフ可)マスクを持参する。
- 13) 運動靴と室内履き(上履き)を用意する。かかとが低いものにする。
子供の足を踏むなど事故の可能性があるので、一箇所にも体重がかからないものにする。
(感染防止のため、ナースシューズは禁止)
- 14) 挨拶をきちんとすること。(保育士、子ども、保護者など) 言葉遣いを丁寧に、子どもを呼ぶときは、「ちゃん」「くん」をつけ、呼び捨てやあだ名で呼ばない。
- 15) 自転車で実習先へ行くことは、禁止とする。
- 16) 児の個人情報について他言しないこと。
- 17) 健康診査・検便検査など実習に臨む上で必要な検査は漏れがないように受ける。
(検便の検査結果は、実習前週に担当教員より手渡しをする。手元に届いた時点で、各自1部コピーをし、原本は保育園へ、コピーは重症心身障害児施設へ提出する。)

<持ち物確認リスト>

- 事前学習のレポート（*）および日々録
- クラスローテーション表（*）
- 検便検査結果（*）
- 昼食代金（*） *初日にリーダーがまとめて指定の封筒に入れて提出
- トレーニングウェア、Tシャツ（ポロシャツ）、エプロン（名札つき）、上履、下履
- タオル、帽子
- 配膳用エプロン、三角巾、マスク

5. 記録

1) 1日の実習記録

2) 事前レポート

- ・ 保育所実習での自己の目標を具体的に記載する。
- ・ 表紙に保育所実習事前レポートのタイトル、テーマ、実習場所（保育所名）、実習期間、学校名をともに記載する。
- ・ 実習開始前に担当教員へ一度提出し、指導を受けること。
グループ毎に日程を確認する。
- ・ 保育園へは初日に必要書類をまとめて封筒に入れて提出するため、穴は開けない。

3) 終了後レポート

テーマ：保育所実習で学んだこと（サブテーマをつける）

A4 サイズ 2000 字以上、鉛筆不可

記録に際しては、誤字脱字に注意し丁寧に書く。（鉛筆不可）

重症心身障害児施設実習

1. 目的

障害を持ちながら療養または在宅で生活する子どもとその家族の支援の在り方を学ぶ。

2. 目標

- 1) 療育の場での健康管理、治療、日常生活支援のあり方を知る。
- 2) 重症心身障害児を正しく理解し、特徴を捉えた関わりについて考える。
- 3) 在宅療養における看護職の役割・他職種との連携を考える。

3. 実習の展開

- 1) メンバーで揃って行き、事務所玄関から入り、窓口で挨拶をする。
(服装はスーツ着用し訪問する)
- 2) 指示された更衣室で更衣をし、指導者に「健康チェック表」および「検便検査結果（コピーしたもの）」、「個人情報保護に関する誓約書」を提出する。
(メンバー分封筒に入れ、まとめて提出する。)
- 3) 実習のタイムスケジュールは、以下の通りである。
9:00～ 全員 施設内見学
9:30～ 各実習場所へ移動 (病棟およびデイケア)
*各専属実習指導者のもと、目標が達成できるよう意欲的に取り組む
(昼食は、各実習場所で指示を仰ぐ)
15:15～ 実習場所毎のミニカンファレンス
15:30～16:30 合同カンファレンス (それぞれの実習場所での学びを共有する)
*事前に場所等確認し、主体的に運営する
16:30～ 放課後デイサービス等の見学

4. 実習に臨む上での留意事項

- 1) 実習時間は9:00～17:00とする。
上記タイムスケジュールをもとに余裕をもって行動する。
遅刻・欠席時は、実習開始時間前までに、施設の療育部長または副部長、学校およびグループメンバーに連絡をする。
- 2) 実習着は外部実習着に保育園実習で使用するエプロン(布製の名札をつけたもの)を着用、ナースシューズとする。装飾品ははずし、髪は清潔にまとめる。
介助時の利用者の安全確保のため、安全ピンは使用しない。
- 3) 昼食は持参する。
- 4) 実習前に3年次実習オリエンテーション「重症心身障害児施設の特徴と看護」「実習する上での留意点」の復習および、障害のある小児と家族(教科書および参考書)とDVD「リハビリテーション医学第2版 V o L 8 小児の発達障害」(学校図書室にある)を視聴してから実習に臨むこと。
- 5) カンファレンスは、主体的に準備、運営する。

- 6) 多くのスタッフや利用者と接する機会があるため、挨拶をきちんとする。
- 7) 実習中に体調不良となった場合は、指導者に速やかに報告し指示を仰ぐ。
- 8) 借用した部屋や物品は丁寧に扱い、ゴミは各自持ち帰る。
- 9) 個人情報保護に関する誓約書を提出し、その内容を厳守すること。
- 10) 実習中に施設より指導を受けたことなど報告事項があれば、学校に連絡する。
- 11) この実習においては、施設所定の健康チェック表となるため注意する。
誓約書および健康チェック表は、オリエンテーション時に配布する。実習日まで大切に保管すること。
- 12) 実習終了の連絡を学校へ行う。

5. 記録

1) 1日の実習記録

- (1) 実習前に「行動目標」「行動計画」を記載し、コピーしたものを実習日の1週間前までにグループ分まとめて施設へ郵送する。
- (2) 実習終了後「評価」を記載したものを①原本は担当教員へ提出（保育所実習記録提出時に一緒にファイルにはさむ）、②コピーを実習終了後1週間以内に施設へ郵送する。
* 郵送したものは返却されないため、必ずコピーしたものを郵送すること

<郵送先>

〒206-0036

東京都多摩市中沢1丁目31番地1

社会福祉法人日本心身障害児協会

島田療育センター

杉田 友春 副部長 宛て

個人情報保護に関する誓約書（実習生用）

年 月 日

島田療育センター
院長 木実谷 哲史 殿

学校名 _____

住 所 _____

氏 名 _____ 印 _____

(実習期間： _____ 年 月 日～ _____ 年 月 日)

このたび、貴センターにおいて実習を行うにあたり、貴センター及び貴センター利用者の個人情報を含む情報の保護のため、下記事項を誓約し遵守することを確認致します。

記

1. 個人情報に関する法令、及び島田育成センターの規定・ルールを守り、個人情報の保護を行います。
2. 実習中に知り得た貴センターで管理している個人情報について、また利用者及び職員、関係者の個人的な情報について、実習中はもとより、終了後も不正に使用したり第3者に漏洩することは致しません。
3. 上記各項の誓約に違反して、貴センターで管理している個人情報や利用者及び職員、関係者の個人的な情報を不正に使用し、また第3者に漏洩した結果、貴センターが被った被害について、賠償責任を負います。

以上

健康チェック表

記入日（実習に入る直前） 年 月 日

学校名：

氏 名：

- | | | |
|------------------------------|-----|-----|
| 1. 38度を超える発熱があるか | (ある | ない) |
| 2. 咳き、のどの痛みはあるか | (ある | ない) |
| 3. 全身倦怠感、腰痛、頭痛があるか | (ある | ない) |
| 4. 咳きが2週間以上続いている | (ある | ない) |
| 5. 微熱を含めて、熱が続いている | (ある | ない) |
| 6. 就寝中寝汗をかく | (ある | ない) |
| 7. 食欲がなく、体重が減った | (ある | ない) |
| 8. 痰に血が混じる | (ある | ない) |
| 9. 吐き気、下痢がある | (ある | ない) |
| 10. 不眠がある | (ある | ない) |
| 11. ストレスや不安を感じている | (ある | ない) |
| 12. 腕、手、指を怪我している | (ある | ない) |
| 13. 2週間以内に海外旅行をした | (ある | ない) |
| 14. 身体に発疹がある。特に最近2週間以内にできたもの | (ある | ない) |
| 15. 目が赤い。異物感がある | (ある | ない) |
| 16. 耳下腺の腫れ（耳の周り）がある。 | (ある | ない) |

*13) については、新型インフルエンザの問題もあり、帰国後2週間を経過した場合に実習を受け入れるものとする。ただし、疾病により設定された潜伏期により、期間は変更する。

小児看護学実習評価表

学籍番号		学生氏名			
実習期間	年 月 日 ~ 月 日				実習病棟 6B
	年 月 日 ~ 月 日				保育園
出席状況	欠席時間数	時間	島田療育センター	年 月 日	
評 価	点	学生署名	教員署名		

*太枠内は、ボールペンで、A B C D及び自己評価は、鉛筆で記入の上提出する

評価項目		A	B	C	D	自己評価	教員評価
情報 ア セ ス メ ン ト	1. 対象の背景がわかる (健康歴、既往歴、家族歴、受診行動、日常生活習慣、発育暦等)					/25	/25
	2. 身体発達・精神発達に着目し現在の状態を アセスメントできる						
	3. 日常生活習慣にもとづいて現在の療養生活が アセスメントできる						
	4. 病態、治療特性に着目しアセスメントできる						
	5. 病気や入院が小児と家族におよぼす影響を アセスメントできる						
計 画	1. 問題解決の優先順位がわかり目標設定ができる					/15	/15
	2. アセスメントに着眼し具体策が提示できる						
	3. 具体策には遊び、学習を取り入れて提示できる						
実 施 ・ コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン	1. 具体策にもとづいて実施できる (安全性、安楽性、目的性、経済性を考えて)					/20	/20
	2. 対象に応じた工夫や応用をしながら実施できる						
	3. 発達段階に合わせたコミュニケーションがとれる						
	4. 医療関係者の一員として子どもと家族へ誠実に 関わり、倫理面への配慮ができる						
評 価	1. 目標達成状況を評価できる					/10	/10
	2. 看護の一連の過程をフィードバックできる						
態 度	1. 子どもと家族を取り巻く医療福祉教育の連携に ついて考えることができる。					/20	/20
	2. 健康状態に留意し、遅刻欠席がない						
	3. 服装、言葉遣い、態度をわかまえている						
	4. 連絡・報告・相談ができる						
レ ポ ー ト	1. 保育所 テーマ:					/10	/10
	2. 病棟 テーマ:						
教員評価							

慈惠第三看護専門学校

学生番号 _____ 氏名 _____